



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



あの椋鳩十さんが呉市を物語にしていた？

椋鳩十（むくはとしゅう）といえば、国語の教科書にも載っている「大造じいさんとガン」の作者で有名な作家ですね。あの鳩十が、実は呉市にある島を題材にした物語を書いていたとは・・・。その作品の題名は、「黄金（こがね）の島」。その「黄金の島」とは、呉市の大崎下島のこと。鹿児島県で長く過ごした鳩十が呉市の島のことを物語に書いていたとは感激です。

この本の後ろには初版発行昭和50年とありました。鳩十が70歳のときの作品ということになります。おまけに、この作品が、「離島ものがたり」全4巻の第1巻ということは、大崎下島が鳩十の中ではかなりインパクトのある島だったということでしょう。そのことにまた感激です。

この作品を読むと、大崎下島が江戸時代に瀬戸内海の島々の中でも大いに栄えた島の一つでありながら、栄枯盛衰の波に飲み込まれそうになる度に、それを乗り越えようとした島民のご苦労に思いを馳せずにはいられません。その結果、ミカンやレモンの産地として名を馳せる島になったこと。日本でいちばん最初にミカンの缶詰をつくったこと等、鳩十のこの物語から、島民のたくましい生き様がひしひしと伝わってきて、私自身大変勇気づけられます。

コロナ対応についてのお願い

コロナの感染状況が全国的になかなか落ち着かない中、これから大型連休を迎えますが、ご家庭でも、感染防止策に緩みなく取り組んでいただきますようお願いいたします。

本校でも、家庭内感染により、陽性者が出ては収まり出ては収まりといったような状況が見られます。

これまでもお願いしておりますように、**同居家族内に1人でも風邪様症状のある場合には、登校を控えるよう、ご協力の程よろしくお願いいたします。**

<全国学力・学習状況調査（6年生）>4月19日（火）



広警察署・広交通安全協会及び推進協議会の皆様のご協力を得て実施しました。

<交通安全教室（1年生）>4月20日（水）



信号が青でもしっかり右・左・右を確かめて！

<学校探検発表会に向けて（2年生）>



校内探検したことを発表する準備をしています。